



Hs farm 代表 千葉 勝久さん（陸前高田市）

『美味しく、新鮮ないちごを地域へ届けたい』

今回は、陸前高田市でいちごの生産・販売を行う合同会社 Hs farm 代表の千葉勝久さんをご紹介します。

同市出身の千葉さんは、水産高校を卒業後、関東や中部地方で働いていましたが、平成 21 年に帰郷し、知り合いに誘われ JA おおふなどで農業に携わる仕事を始めました。

その後、平成 28 年から、JA おおふなとアグリサービスのいちご部門で、栽培技術を磨き、令和 4 年 11 月に、アグリサービスと一緒に働いてきたメンバー達と合同会社 Hs farm を立ち上げ、その代表を務めることになりました。

そんな千葉さんは、「美味しく、新鮮ないちご栽培」と「働きやすい職場づくり」を心掛けた法人経営を行っています。

栽培では、糖度を高めるために水分調整をしながら、味にこだわったいちごを生産しているほか、1 棟 40a の広々としたハウスで、作業姿勢の改善が図られる高設栽培を導入し、作業性

や労働環境を重視した生産にも取り組んでいます。

販売は、美味しいいちごを新鮮なうちに消費者に提供したいとの思いから、主として近隣のスーパーや直売所で販売しています。

直売所はハウスに併設しており、新鮮ないちごを求めて地域の方々がやってきます。他にも、市内のケーキ屋さんへも販売しており、地域との関わりが深いことが分かります。今では、市内だけではなく、内陸部のスーパーからもいちごを求められるようになるなど、品質の良さが販路拡大につながっています。

千葉さんは、従業員にしっかり利益を還元したいという思いを持ちながら、将来的に後継となる人材の育成も視野に入れています。法人設立からまもなく 1 年、会社のさらなる飛躍が期待されます。

（文：大船渡農業改良普及センター）